

科目名	シナリオ演習			科目コード	1307
開講学科	文芸学科	単位数	2	形態	演習
教員名	大津一瑯				
授業の目的及びテーマ					
<p>テーマ:本気で書きたいけど書けない人の為の脚本術～実践的シナリオに挑戦～ 目 的:新たにシナリオ執筆の実践的技術を、フォーマット・演習等で身につけ、課題①で構成(プロット)。 課題②で執筆した短編シナリオをブラッシュアップする。</p>					
授業概要					
<p>シナリオ創作論をスキルアップ、事前に提出した企画案を練り上げ、プロット(中バコ)を作り上げる。 実際に映画を見てシナリオを分析、セリフによる演技指導など多方面からのシナリオ技術のステップアップを図る。その 為に、講義、演習に加え教員面接、グループ討議・作業を積極的に取り入れる。 仕上げとして、自分たちが書いたシナリオの読み合わせ(本読み)を行い、他者の眼(客観性)を養う。 さらにシナリオを他の文芸表現(小説・戯曲・童話・漫画原作等)に活かす事も目的の一つである。</p>					
授業計画					
<p>第 1 回: ドラマは葛藤である。名作映像から見えるシナリオの姿。 第 2 回: 発想の種。人はどういう時に感動するか。 第 3 回: ヒットする企画の秘密。小説との二刀流法。 第 4 回: 企画検討。ライター、監督、プロデューサーの目から企画を検討する。 第 5 回: シナリオハンティング。素材(モチーフ)を徹底的に調べる。 第 6 回: あなたの主人公は誰。魅力的なキャラクターを創るテクニック。 第 7 回: ストーリー創りのヒント。なぜ話が創れないのか。 第 8 回: 企画案検討。面接。討議。 第 9 回: 参考映画鑑賞。分析討議。 第 10 回: 執筆チェックリストの確認。初心者が犯しやすいミス集。 第 11 回: スキルアップ講義。柱(シーン)の重要性。プロとの違い。 第 12 回: ト書きは全て絵である。絵で心を語るテクニック。 第 13 回: シャレードと小道具の効果的使い方。 第 14 回: 面接。修正(直し)のチェックポイント。 第 15 回: 自作シナリオの本読み。役者がやりたくなるセリフとは。</p>					
テキスト	学習指導書	参考文献	新井一著「シナリオの基礎技術」		
評価方法:					
<p>通信授業は提出課題2件を以って評価する 面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。</p>					